

トーク空間「日語回廊」を 運営する日本人学生が 獲得したものと期待

張 瑜珊

東海大学 日本語言文化学科

「日語回廊」とは(小池 2017)

- 「言語コーナー」の一種(リソースが配置される場所)
- 教室外で目標言語に触れる機会を作る
- 目的: 学習意欲を高めること、目標言語を**実際に**使用すること(口頭能力)
- 経営の仕方が多様 (日本人留学生TAの設置、教師が当番を担当)

「日語回廊」の変遷(1) (小池 2017)

- 2012年から始動
- (1期目) 学科**教員**、大学**院生**が運営。テーマは教員が設定
- (2～4期目) 大学**院生**が主に。参加者のニーズや興味を配慮
- (5期目) **交換留学生**が主に。活動崩壊寸前

「日語回廊」の変遷(2) (小池 2017)

- (6期～8期) 立て直し: 日本人留学生と学部生が協働運営
- テーマ学習のグループ活動(6期)、文化トピックに沿ったフリートーク(7期)、食の実作・大学生生活についてトーク(8期)
- 今まで、学校の補助があった(昼食、スタッフ給料)。徐々に縮小

筆者との関わり

- 2016年9月から（アドバイザーに就任）
- 学部生がリーダー役で会をけん引。だが、交換留学、後輩へ伝承のため、半年ごろにリーダーが変わる
- ただ、学校からの補助が不安定で、2018年2月から、補助金がもらえなくなった

筆者の関与の仕方

- 日本人留学生と学部生が自律的に協働運営のため、どこまで関与したほうがいいのか初期から現在も模索中
- 補助金の調達
- 学期ごとの反省会に参加

現段階の「日語回廊」

- 前学年度の参加者数が減った
- 学校のサポートが薄くなってきた
- 「この活動が続けたいのか」を問った
⇒ 「YES!」「もったいない！」

なぜ存続させたいのか？

- なぜアルバイト代がなくなっても、活動を存続させたいのか？
- 学部生はともかく、日本人留学生もなぜそう考えているか？

運営歴が学部生より長い日本人留学生に着目し、トーク空間「日語回廊」に関わることによって、何を
得たのか？

調査方法

- 2018年6月末に、日本人留学生全員（4名）を対象に
- 3名の調査者によるPACインタビュー
(PAC: Personal Attitude Construct: 個人別態度構造)
- 本報告は筆者がインタビューした2名のみ（4年生のSさんとUさん）



刺激文

この「日本語廻廊」の活動で自分にとって意味がある(いいことでも悪いことでもいい)と思ったことは何ですか。

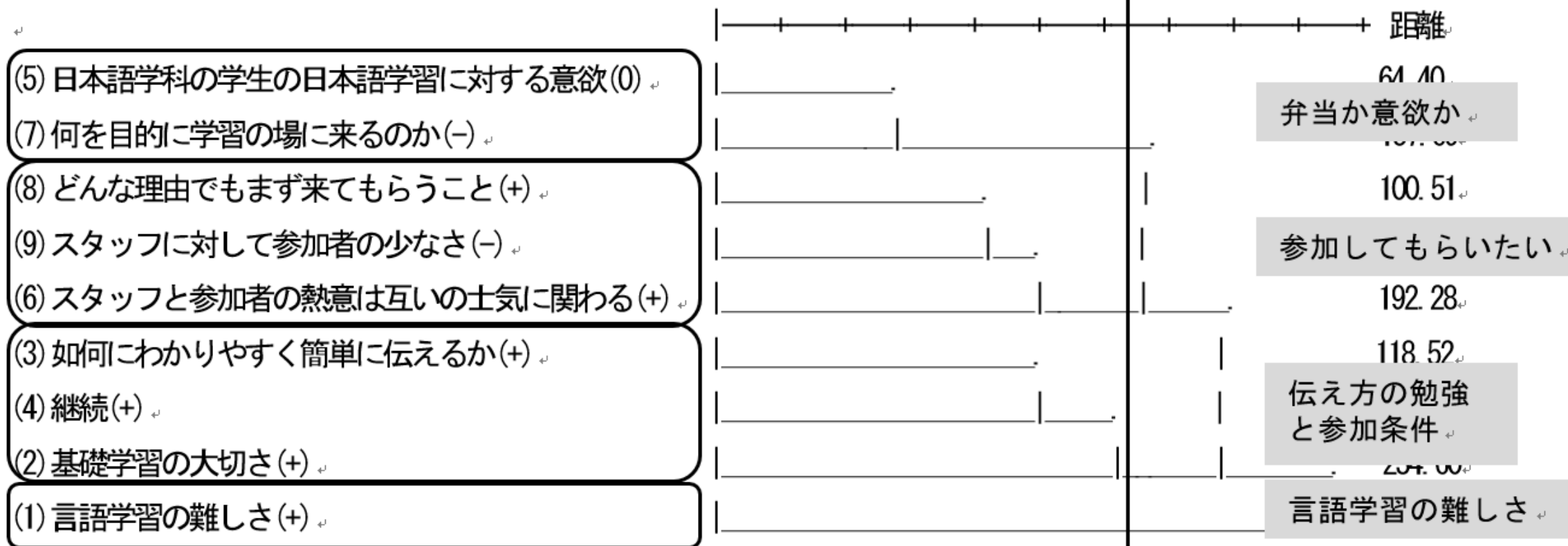


PAC分析の手順

- (1) 当該テーマに関する自由連想
- (2) 連想項目間の類似度評定
- (3) 非類似度距離行列によるクラスター分析
- (4) 調査対象者によるクラスター構造のイメージや解釈の報告
- (5) 調査実施者による総合的解釈

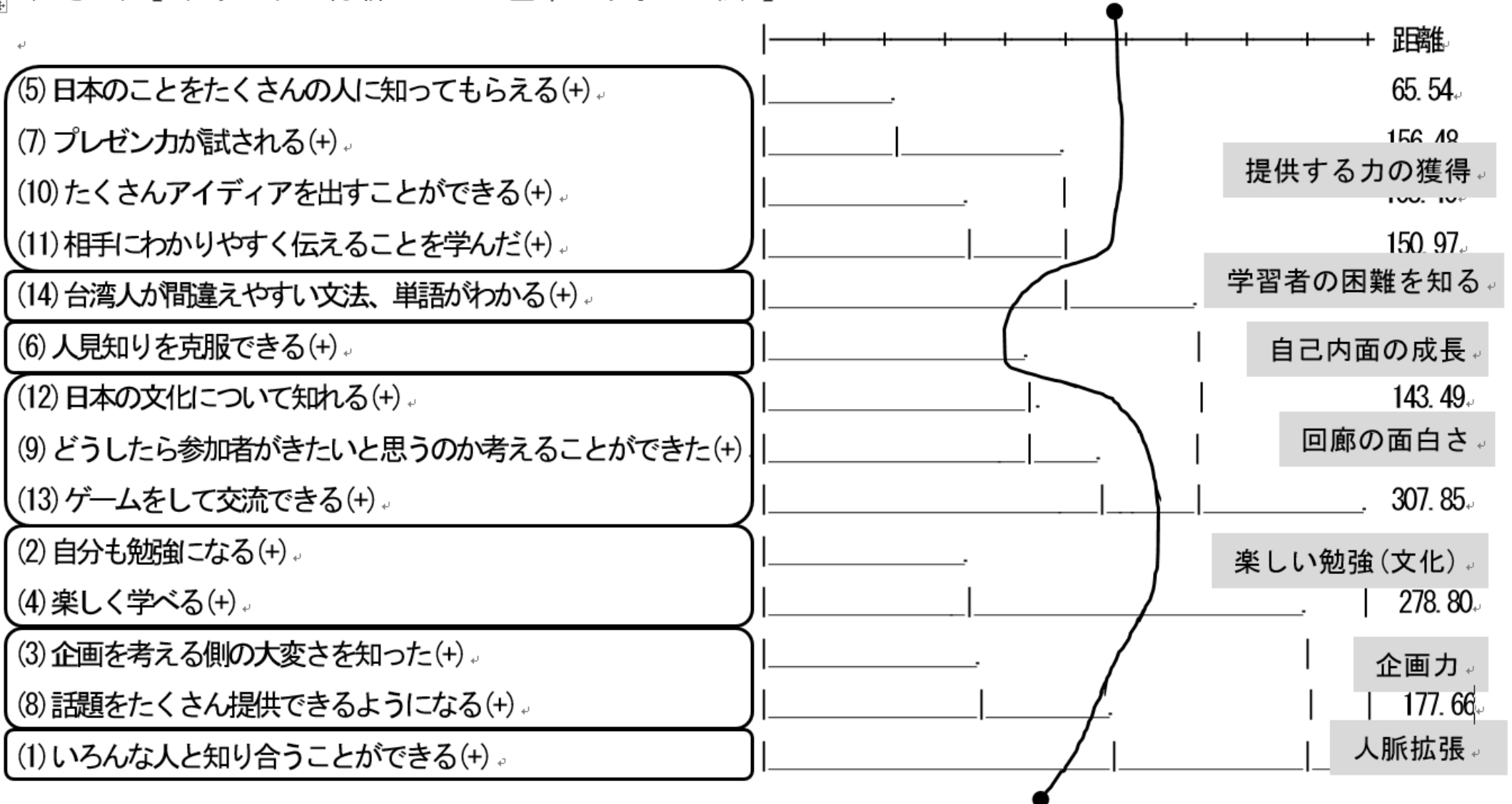
Sさんのデンドログラム


(Sさん) 【 クラスター分析 ---- 基準：ワード法 】



Uさんのデンドログラム

(Uさん) 【 クラスター分析 —— 基準：ワード法 】






まとめ(1)

- Sさんは、会の継続について多く思い出し、また言葉の勉強面について言及
- Uさんは、人間関係を求めてきたが、文化面の勉強、自己内面の成長、楽しい経験などを得た

まとめ(2)

- Sさんは、Uさんより「スタッフの責任感」がより特出。Uさんは、「自分のためになった」というニュアンスが強い
- SさんとUさんとも、「わかりやすい伝え方とか」を学んだ。外から「日本(文化)・日本語を見る」ことから、日本を知った。



まとめ(3)

- 台湾人の参加を期待している

なぜ存続させたいのか？の回答

- 単に日本語学科に利用されるのではなく、日本人留学生はスタッフとして関わること
 - ⇒ 初期には達成感を得た
 - ⇒ 責任感や、各自で感じた学び／ニーズ
 - ⇒ アルバイト代がなくなっても、続けさせたい

「日語回廊」の様子

➡ <https://www.facebook.com/thujapanesecorner/>



まもなく新たな開始

日本語回廊



そこのあなた！

こんな方はぜひ参加！

- ・台湾で友達が欲しい！
- ・日本語で楽しく話したい！
- ・台湾のことをもっと知りたい！

日本語回廊は、日本語を勉強している人と、日本人が会話しながら交流する活動です！！

【活動日時】 毎週月・水曜日 昼 12:20~13:10

【活動場所】 HT102 (日本語学科学科棟)



【懸念】

- ➡ 台湾人スタッフは2人しかいない
- ➡ 台日の協働運営が...

参考文献

- 小池一平(2017)「日本語学習支援プロジェクトを通じた学生の学びとは—台湾人日本語学習者と日本人留学生によるプロジェクトから」東海大学日本語言文化学系碩士班碩士論文



ご清聴ありがとうございました

